



# 令和7年度補正予算 「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」(伴走支援) ～公募のポイント～

令和8年2月

総合教育政策局生涯学習推進課

# 目次

1. 事業の背景	3
2. 委託対象	8
3. 委託事業の内容	9
4. 事業期間、事業規模、採択数	15
5. スケジュール（予定）	16
6. 参加表明書の提出	17
7. 本事業の問い合わせ先	18

### 背景

- 大学等によるリ・スキリングについては、骨太2024を踏まえ、「リカレント教育エコシステム構築支援事業」（令和6年度補正予算）を推進中。地方創生や産業成長のため、**骨太2025や新資本2025（産業人材育成プラン）**においても引き続きの求めあり。
- **地方創生等の観点**では、**地方の経営者**に加え、アドバンスト・エッセンシャルワーカー、就職氷河期世代等の幅広い労働者のリ・スキリングのニーズが指摘（新資本2025、地方創生2.0基本構想施策集、就職氷河期世代等支援に関する関係閣僚会議）。
- **産業成長の観点**では、産業構造審議会部会で示された**2040年に向けたシナリオ集**において、人口減少等の将来像を踏まえた、主要5ミッション、15の個別産業が提示。「リカレント教育による新時代の産学協働体制構築に向けた調査研究事業」では、大学等の優位性と企業ニーズが認められる12領域が提示。これらも踏まえ、生産性向上や労働移動の円滑化も見据えた、**戦略的な分野の選定**が必要。
- この他、**受講者の処遇改善、大学による収益化等**の推進も不可欠



### 解決策

- ① 地域のニーズや産業構造の変化の見通し等も踏まえた、**リ・スキリング・プログラムの戦略的拡充**
- ② 企業における**学びの成果の処遇反映に向けた仕組み構築**
- ③ 大学等における**収益化の推進**

### 事業内容

#### リ・スキリングプログラムの本格実施 企業からの投資を含む収益モデルの構築

- **大学におけるリ・スキリング講座の開発** 補助金18.6億円

メニュー	①地方創生	②産業成長
予算	4千万円×25カ所	4千万円×22カ所
補助対象	産学官金等の連携を行う地方自治体・大学等	産学連携を行う大学等 【領域例】 GX, SCM, DX, 半導体、経営等

※協働体制構築経費、産学連携コーディネーター等の人件費等

- **伴走支援等** 委託費3.6億円

- ・ 採択大学への伴走支援（企業等からの投資を含む収益化の推進等）
- ・ 企業のスキルセット構築
- ・ 「学び直しが当たり前の社会」を目指す広報 等

#### 重点的に実施する事項

#### 公募の際、厳格に評価しメリハリ付け

- **現下の課題に選択的に対応**

<b>個人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アドバンスト・エッセンシャルワーカー育成</li> <li>・ 就職氷河期世代支援</li> <li>・ 参加しやすいオンラインプログラム構築</li> </ul>
<b>企業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スキルの可視化や正当な評価による処遇改善</li> <li>・ 産業構造審議会などで示される新たな人材需要への対応</li> </ul>
<b>大学</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学的経営改革                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 教員のインセンティブ向上</li> <li>✓ 事務体制強化</li> <li>✓ 修士課程への接続等</li> </ul> </li> </ul>

- **企業からの投資を含む収益計画の確認**

#### 目指す状態

#### 産学官連携によるリ・スキリング・エコシステムの構築

<b>個人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働きながら学ぶ社会人の増加</li> <li>・ リ・スキリングによる処遇改善</li> </ul>
<b>企業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リ・スキリングを積極的に活用し、輩出した人材が活躍</li> </ul>
<b>大学</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リ・スキリングプログラムの収益化、定着</li> <li>・ コーディネーター人材の育成、確保</li> </ul>

#### リ・スキリングによる



KPI【地方創生】 累積 **1,000人** ※令和7年度終了時

KPI【産業成長】 累積 **3,000人** ※令和7年度終了時

累積 **2,000人** ※令和8年度終了時

累積 **6,000人** ※令和8年度終了時

累積 **5,000人** ※令和11年度終了時

累積 **15,000人** ※令和11年度終了時

#### 経済財政運営と改革の基本方針2025

・ 産学協働によるリ・スキリングプログラムについて、**毎年約3,000人が修得**できるよう、提供拠点・プログラムを拡充する。

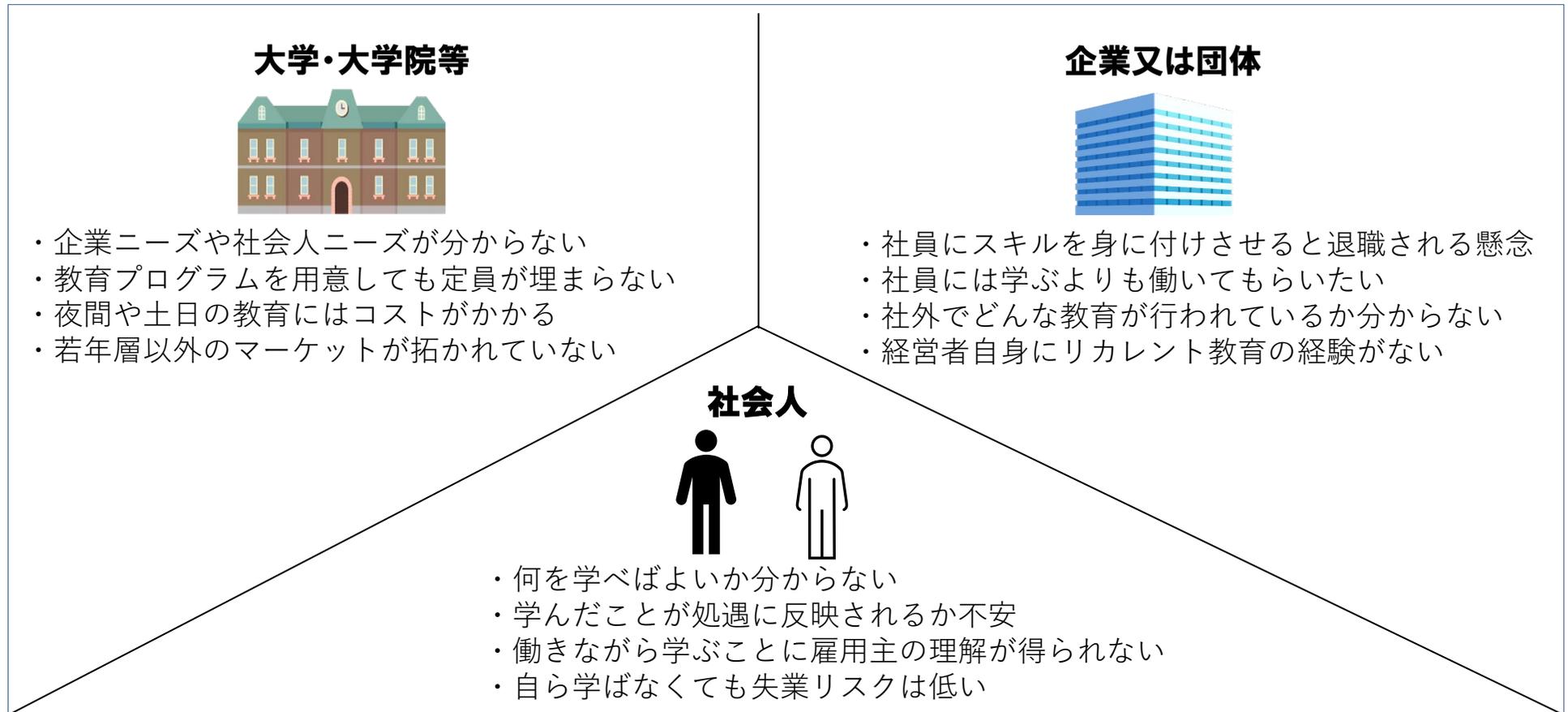
#### 就職氷河期世代等支援に関する関係閣僚会議 「新たな就職氷河期世代等支援プログラムの基本的な枠組みについて」

・ 大学・専門学校において、就職氷河期世代等に対し、企業が**受講者の処遇改善にコミットした講座や資格取得など処遇改善につながる講座**を、働きながら受講しやすい週末・夜間等を含めて拡充

#### 新しい 資本主義 実行基本計画 2025

・ 労働者のリ・スキリングによる**最先端の知識・技能の修得（2029年まで毎年約3,000人以上）**や、**地方の経営者等の能力構築（2029年までに約5,000人）**に向け、大学等が中心となり自治体や産業界等との協働による実践的な教育プログラムの開発を支援する。

・ アドバンスト・エッセンシャルワーカー(略)の育成や、**AI等の技術トレンドを踏まえた幅広い労働者のリ・スキリング(略)**を通じ、全国の津々浦々のそれぞれの地域で、労働者個人が、自らの意思に基づき、活躍できる環境を整備する。



世界的に見ても圧倒的に立ち遅れており、我が国の経済成長、労働生産性の向上、個人のウェルビーイング実現にとって危機的状況

- 我が国の労働力人口の急激な減少は不可避であり、労働者一人ひとりの生産性向上が急務
- 成人の学習参加率が高いほど、時間当たりの労働生産性が高い傾向
- 米国企業の人材投資（GDP比）は、日本企業の20倍以上
- 我が国の労働者は現在の勤務先に継続勤務する意欲は低い、転職も起業もする意欲も低い（主要アジア各国中最低）

## 成長の好循環＝リカレント教育エコシステム

### 大学・大学院等

- ・社会のニーズに応える教育
- ・社会人同士が業種を超えて学びあう「場」
- ・安定収入による教育の質の向上



### 企業

- ・意欲ある社員による業績向上
- ・成長機会のある企業へ人材と投資が集まる
- ・外部委託のコストを社内人材への投資に転換



### 社会人

- ・人生100年時代の働き方、生き方の実現
- ・関心のあることを学び、仕事へ還元
- ・働きながら学ぶことで成長を実感



大学等＝企業・社会人のニーズを先取りする魅力ある教育プログラムの開発・提供  
企業＝人材育成機会の充実と処遇への反映、教育プログラムへの投資、適正な対価  
社会人＝教育機会への積極的な参加、教育成果の社会での活用

# メニュー②採択プログラム一覧

## (R6補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業」)



領域	大学名	プログラム名
半導体	国立大学法人 広島大学	広島大学半導体リカレントアカデミー Hiroshima University Semiconductor Recurrent Academy
	国立大学法人 九州大学	九州大学版イノベーションエコシステム形成に向けたリカレント教育事業の開発・サービス導入
	国立大学法人 九州工業大学	半導体産業の拡大と成長のための全体俯瞰型実習教育の展開
グリーン エネルギー	国立大学法人 長崎大学	産学連携洋上風力人材育成リカレント教育エコシステム構築事業 (IACOW-R)
バイオ・ヘルスケア	国立大学法人 大阪大学	Industry on Campus型リカレント教育エコシステム構想 ～REACH × バイオDX × ビジネスデザイン～
	国立大学法人 千葉大学	ケアテクノロジーの開発と実装を実現するケアテクマスター育成プログラム
マーケティング	学校法人 早稲田大学	CMO Program – 企業経営を牽引するマーケティングを学ぶ総合講座
DXプロ	国立大学法人 北海道大学	社会変革を先導するDXプロフェッショナル人材育成 –ケーススタディ型学習による人材輩出の加速化–
	学校法人 早稲田大学	スマートエスイーAIトランスフォーメーション: 生成AI産学エコシステム
GXプロ	国立大学法人 北海道大学	グリーンビジネスとGXで拓く、未来志向リカレント教育エコシステムの構築
	学校法人 立命館 (立命館大学)	GXプロフェッショナル+Rプログラム
SCMプロ	学校法人 流通経済大学	SCMプロフェッショナル人材育成プログラム
	国立大学法人 東京大学	サプライチェーンマネジメント (SCM) リカレント教育
経営人材向け	学校法人 早稲田大学	早稲田大学ビジネススクール・オックスフォード大学サイドビジネススクール共同開発 The Global Leader Accelerator Programme (GLAP)
	学校法人 東京女子大学	事業創造×HRM×リベラルアーツで育成する 高度専門人材 (事業創造) 東女リカレント: 自信をもって、ビジネスの中心に
	国立大学法人 一橋大学	社会科学×データサイエンスによるデータ駆動経営人材育成プログラム
	学校法人 先端教育機構 (事業構想大学院大学)	地域構想力育成プログラム
	学校法人 武蔵野美術大学	社会課題とビジネスをデザインでつなぐ。社会価値創発機構構築事業
複数テーマ	国立大学法人 神戸大学	異分野共創・価値創造リカレント教育プログラム

# 補助対象について（メニュー②「産業成長」）

## 領域

- 令和6年度補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業」メニュー②「リカレント教育による新時代の産学協働体制構築事業」にて採択実績のある下記領域※1。

※1半導体、グリーンエネルギー、バイオ、ヘルスケア、マーケティングプロ、DXプロ、GXプロ、SCMプロ、経営人材向け

※2 (a)はすでに社会人向けプログラムを実施した実績を有することを要件とする。

- 下記に挙げられる領域。

蓄電池、モビリティ、クリエイティブ、介護、人事、財務、アセットマネジメント、その他産業成長又は産業の構造転換に伴う労働移動に資する領域。

## 3. 委託対象

---

### ・法人格を有する団体

文部科学省の支出負担行為担当官等から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと

(注) 委託事業者の選定について

- ✓ 「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」選考審査委員会において審査する。
- ✓ なお、審査にあたっては、申請団体に対して、提出書類の内容の確認や変更、追加資料の提出等を求めることがある。

## 4. 委託事業内容①

### 取組内容

- 事業趣旨の下、本委託事業においては、令和7年度補正予算「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」において採択された大学等におけるリカレント教育推進に向け、以下の取組を実施する。
  - (1) 補助事業の対象となる大学等を選定する委員会の事務局業務
  - (2) 大学等のリカレント教育プログラムの開発・実施・運営や調査分析等、及びこれに参画する企業等が産学協働体制を構築する上で必要な伴走支援
  - (3) ネットワーク・広報・事業成果取りまとめ業務
  - (4) 我が国におけるリ・スキリングのさらなる促進に向けた調査研究等

	令和7年度補正予算「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」	
	A「地方創生」	B「産業成長」
採択予定件数（補助対象者）	25件（大学・自治体等）	22件（大学等）
(1) 選定委員会事務局業務	○	○
(2) 伴走支援業務	-	○
(3) ネットワーク・広報・成果とりまとめ業務	○	○

※事業別委託業務について○は委託業務、-は委託業務外

※(4) 我が国におけるリ・スキリングのさらなる促進に向けた調査研究等は、国内外のリ・スキリング施策の実態・成功事例を体系的に整理し、リ・スキリングを進める際の課題と解決策を明らかにするとともに、効果的なり・スキリングプログラムの要件を抽出し、政策への示唆を提供すること。

## 4. 委託事業内容②

### (1) 補助事業の選定委員会事務局業務

#### 取組内容

- A及びB事業の補助対象者を選定するため、審査基準に基づき、審査方法等の検討、応募書類整理や選定委員等との連絡調整など、選定に係る事務手続きを行うとともに、**選定委員会運営**を行う。
- A及びB事業ともに令和7年度中に、文部科学省において公募を開始し、3月末までに公募を締め切る予定である。それに伴いA及びBの事業の公募、その他の選定に必要な諸業務（具体的には公募要領の通り）を文部科学省に事前に相談の上行うこと。

#### 留意事項

- ✓ 選定業務は大学等から提出された事業計画等書類を貴省から受領後、原則60日以内に補助対象となる大学等を選定し、文部科学省担当者に採点結果と併せて報告すること。
- ✓ 審査の結果、採択件数が複数になった場合、選定業務を行わない受託者も選定審査に関して選定業務を行う受託者にできる限りの協力を行うこと。

## 4. 委託事業内容③

### (2) 大学等のリカレント教育プログラムの開発・実施・運営や調査分析等、及びこれに参画する企業等が産学協働体制を構築する上で必要な伴走支援

#### 取組内容

- 大学等が開発・実施するプログラムの進捗状況を管理し、課題とする事案に対応すること。
- プログラムへの参加者数（受講生その他、部分受講生やプログラム説明会の参加者など）をはじめとするアウトプット・アウトカム指標（KPI）等の達成に向けて、必要に応じて下記の支援を行うこと。
- プログラム受講者の企業内における評価方法や処遇改善等を支援すること。
- 今後、新たに取り組む他大学等の参考となるよう、リ・スキリングプログラムを効果的に実施するための示唆・課題を調査分析すること。
- 大学におけるリ・スキリングの取組の充実が必要になると見込まれる新たな成長分野に関する調査を行うこと。
- その他、必要と思う支援があれば、計画書に記載すること。

#### 企画提案のポイント

- 業界毎や業界横断の人材ニーズと、大学等のリソースを結びつける知見・ネットワークを有する場合にはその内容（特定の業界動向に関するものも同様）
- 伴走支援の具体的工程・手法・スケジュール等
- 産業界と大学等の連携に関する独自の工夫や知見・ネットワーク等
- 収益化を図るための知見等

## 4. 委託事業内容④

### (3) ネットワーク・広報・事業成果取りまとめ業務

#### 取組内容

- 「地方創生」及び「産業成長」の補助事業者が、本事業について課題を共有したり、交流する機会を1回以上設けること。
- 本事業で開発する各大学等のプログラムに関して、広報・周知活動を通じて、経済団体、企業、社会人、自治体等への情報発信を行うため、フォーラムやシンポジウムなどを行う。
- 各大学等のプログラムの参加者数の拡大を支援するとともに、プログラムの優れた点や受講生・企業の評価、調査分析結果について、大学等及び企業も参加する成果報告会を開催すること。
- 「マナパス」運営事業者が本事業の特集ページを作成する際に、大学等からの情報収集等に協力すること。
- 「地方創生」及び「産業成長」それぞれの全体的な成果と課題等について、事業成果を取りまとめること。
- 取りまとめにあたり、新たにリ・スキリングに取り組む他大学等の参考となるよう、教育プログラムを効果的に実施するための示唆、収益化などの好事例を示すこと。
- 補助対象の大学等が実施したプログラムを事例集として取りまとめること。
- その他、参考となる優良事例の収集を行うこと。

#### 留意事項

- ✓ 将来的にリ・スキリングが産学等で自走化することを見据え、教育プログラムや収益化など好事例の横展開するとともに、課題等を整理。

## 4. 委託事業内容⑤

### (4) 我が国におけるリ・スキリングのさらなる促進に向けた調査研究等

#### 取組内容

- 我が国におけるリ・スキリングの現状を踏まえて以下の点について、調査研究を行い、その結果を随時取りまとめて報告すること。
  - ・文部科学省として更に取り組むべき施策の検討（リ・スキリングに関する総合的な戦略や予算事業の在り方等）を行うために必要なデータや情報の整理とそれを踏まえた方向性の提示。
  - ・リ・スキリングによる取り組みを一層充実させるため、大学における全学的経営改革（教育・研究・経営の仕組み全体の再構築や大学の経営戦略の中心にリ・スキリングを位置付けるなど）の取り組み状況を調査、海外における優良事例の収集・分析などを行い、我が国の大学がリ・スキリングの充実のための全学的経営改革を一層進めるに当たって必要となる施策等について取りまとめること。
- その他、必要となる調査研究を行うこと。

#### 留意事項

- ✓ 文科省のリ・スキリング戦略及びリ・スキリングによる大学改革を進めるための実行可能な施策を整理し示すこと。

## 4. 委託事業内容

### (5) その他

- 本委託事業の実施にあたっては、国の委託事業としての適切な実施を期するため、週に1回程度、文部科学省担当課に進捗状況の報告を行い、必要に応じてその指示を仰ぐこと。文部科学省担当課より、事業の実施に際し、事業内容について個別にヒアリング、資料提供及び事業報告会等における発表・報告等を求める。
- 本事業の円滑かつ効果的・効率的な実施を図るため、受託者のうち1者を主担当受託者と位置づける。主担当受託者は、他の受託者と相互に連携し、事業全体の進行管理を行うこと。
- 他の受託者は、主担当受託者並びにその他の受託者と相互に連携し、業務の進捗状況その他必要な情報を共有すること。また、全事業者参加の下、進捗の報告・発表等を求める場を設定することがあるため、全面的に協力すること。
- 伴走支援の対象となる大学等から個別に依頼を受けた場合は、文部科学省と相談の上で対応すること。

## 5. 事業期間・事業規模・採択数

---

### (1) 事業（契約）期間

**契約締結日 ～ 令和9年3月31日（水）**

※ 繰越協議の承認を得られた場合

### (2) 事業規模

**355,685千円 を上限とする**

※採択件数・採択された者の提出経費及び点数に応じて1件あたりの委託金額は決定

### (3) 採択数

**2件（予定）**

※採択件数は審査委員会が決定する

## 6. スケジュール（予定）

**【公募締切】 令和8年3月3日（火） 17時必着**

（企画提案書の提出方法は公募要領に記載の通り）

**【審査期間】 令和8年3月中旬頃**

（選定及び事業計画書の提出：令和8年3月下旬頃）

**【契約締結】 令和8年4月上旬**

※上記スケジュールは予定であり、変更されることがある。また、繰越協議の承認を得られた場合による。

※契約締結後でなければ事業に着手できないので、企画提案書作成に当たっては、事業開始日に柔軟性を持たせたうえで作成する必要があることに十分留意すること。なお、再委託先がある場合は、この旨を再委託先にも十分周知すること。

## 7. 参加表明（公募説明会）

本企画競争に参加を希望する場合は、以下のフォームより参加表明ください。  
参加表明で登録したメールアドレスに公募説明会のURLを送付致します。

**【参加表明入力期限】 令和7年2月16日（月） 15時**

**【参加表明フォーム】** <https://forms.office.com/r/Dht4PsKZVz>

**【WEB公募説明会】 令和7年2月17日（火） 10時～10時半**

- ※ 参加表明は、本企画競争において必須ではない。
- ※ WEB公募説明会のURLは参加表明入力期限後に一斉に送付する予定。
- ※ 公募説明会について、後日、文部科学省HPに録画を掲載する予定。

## 本事業に関する問い合わせ先

03-5253-4111（内線3286）

[syokugyou@mext.go.jp](mailto:syokugyou@mext.go.jp)

※お問合せはメールで送信ください。